

上演

12

速報! Drama Scoop ドラマ スクープ



聖霊学園高等学校

楽屋インタビュー

- 1 本番を終えて、どんな気分ですか？
達成感でいっぱい、安心。時間がちょうどよくて良かった。
- 2 本番中ハプニング
司書役が登場するタイミングがズレて焦った。
- 3 思い出に残った台詞
「これが北海道の時計台か…」まさかあそこで笑われるとは…
- 4 大会期間中、部活内で流行ったワード・行為
「〇〇といえば？」ゲーム
みんなで答えを一致できるか、絆を確かめる（？）
江戸走り（司書さん式）
- 5 見てくれたお客さんに向け
笑ってくれてありがとうございます！！
皆さんも北海道に行きたくなってくれたらうれしいです。
(秋田にも来てほしい！)



お客さんインタビュー

- 修学旅行に行けない二人の理由が段々明らかになっていく基軸ストーリーの上で、細かい日常の掛け合いかこだわっていて、とても現実味のある舞台だと感じた。
- 役者のキャラづくりと活舌が良く、舞台装置からもすぐに屋上と理解できた。全体が分かりやすかった。

運営委員が観た!
この劇の感想

- 主人公の家庭は貧乏で生活は苦しいけど母親とは仲が良く、誰とでも明るく振る舞う性格と、ユメちゃんの裕福だけど家庭環境が悪く、すぐに暴言が出てしまう性格の対比がしっかりと表現できていた。主人公の隠していた不安やユメちゃんの晴れない不安などもしっかり伝わっていく素晴らしい演技力で、物語に引き込まれました。 担当: 栗田(塩釜+)
- 登場人物のユメとウミカの性格・環境が正反対で劇中に出てきた写真と台本も本当と嘘のように対比になっているところが素敵で、劇の内容を理解しやすかったです。屋上の柵やスキー道具、外国の写真集などの大道具・小道具は実際の演劇部で作りそうな物や使用している物だったので、本当に自分達も作りそうだなと思いました。 担当: 佐藤(富谷)